

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	高齢者の在宅生活の支援	施策No	02-03	部課名	福祉部 高齢者福祉課		
				課長名	大内 和彦 内線 2660		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市 []					
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成 [0 2]					
目的	<p>高齢者の在宅生活を支援するために重要でありながら介護保険制度の対象とはなっていないさまざまなサービスを提供することにより、介護・支援を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域の中で安全に安心して住み続けられることを目的とする。</p>						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		17年度	18年度	19年度	20年度		目標値 (28年度)
	紙おむつ購入助成延べ利用者数	11,771	11,520	13,856	13,848	-	購入券、現金支給の計 20年度は見込み
	住宅設備改修件数	114	57	99	81	-	20年度は見込み
	ひとり暮らし高齢者届出者数	2,131	2,116	2,091	2,084	-	20年度は4月末現在
	虐待の相談件数	-	71	169	-	-	
現状と課題 (指標分析)	<p>○紙おむつ購入助成の利用者については毎年度延べ1万人以上にのぼるが、おむつに関する相談は、「おとしよりなんでも相談」の窓口においてもその大半を占める状況にある。</p> <p>○ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯が増加していることなどから、高齢者が住み慣れた地域の中で安全に安心して自立した生活を続けられるようにすることが、ますます重要になってきている。</p> <p>○高齢者が虐待を受けている（と思われる）事例が増加していると思われるなか、平成18年4月に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行され、虐待を受けている（と思われる）高齢者世帯等に対して、調査のために区が直接立ち入ることができるようになり、また、居室の確保のために必要な措置を講ずることも定められた。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○在宅における自立生活等を支援するため、住宅改修等に対する助成を実施するとともに、介護にあたる家族の経済的負担を軽減するため、紙おむつ購入費を助成するなど、在宅介護を支援してゆく。</p> <p>○緊急時及び災害時においても、様々なハンディキャップを持つ高齢者の安全を確保するのみならず、地域の中で日常的に支え合いや見守り合いを継続するための仕組みづくりにも積極的に取り組んでゆく。</p> <p>○精神的・肉体的に虚弱化した高齢者が増加しているなか、地域包括支援センター、民生委員等、地域とも連携して情報を収集し、高齢者が必要とするサービスの提供を的確に受けられるよう取り組んでゆく。</p> <p>○高齢者に対する虐待を予防・防止するため、弁護士や臨床心理士等とも協力し、高齢者緊急医療保護や成年後見制度の活用、要介護等高齢者法律相談等に取り組んでゆく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	在宅で生活している高齢者やその家族の実態の把握に努め、それぞれのニーズに対応した施策を展開していく必要がある。

施策分析シート（平成20年度）

No2

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設定	今年度 設定	
高齢者民間住宅入居支援事業	06-03-09	-	60	推進	推進	高齢者が住み慣れた地域において住宅を確保するために、必要な事業である。
社会福祉協議会補助（長寿慶祝の会）	06-03-10	2,279	2,413	継続	継続	実施方法や内容等を見直す必要があり、当面、現状の規模で実施する。
理美容サービス事業	06-03-11	2,205	2,139	継続	継続	実績を踏まえて、現状の規模で実施する。
高齢者紙おむつ購入助成事業	06-03-12	66,395	74,896	推進	推進	高齢者及び介護者に対する経済的な負担軽減効果は大きい。
高齢者住宅改修給付事業	06-03-13	8,837	21,412	重点的に推進	重点的に推進	高齢者の在宅生活を支援するため、事業の充実を図る必要がある。
寝たきり高齢者寝具水洗乾燥消毒事業	06-03-14	48	157	継続	継続	対象者が少ないため、現状の規模で実施する。
通所サービス利用者負担軽減	06-03-15	9,668	11,052	推進	推進	時限事業であるため、現状の規模で実施する。
ひと声運動事業	06-03-16	249	65	推進	推進	ひとり暮らし高齢者の増加を踏まえ、実態把握に努め、事業の拡充を図る必要がある。
ふれあい入浴事業	06-03-17	16,278	14,854	継続	継続	ひとり暮らし高齢者対策としては、現状の規模で実施する。
高齢者入浴事業	06-03-18	-	-	-	重点的に推進	高齢者の閉じこもり防止に一定の効果が期待でき、事業規模については検討が必要である。
緊急通報システム事業	06-03-19	16,849	18,969	推進	推進	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の安全を守るため、対象者の把握に努める必要がある。
火災安全システム事業	06-03-20	458	461	推進	推進	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の安全を守るため、対象者の把握に努める必要がある。
交通安全杖支給事業	06-03-21	263	368	継続	継続	対象者の減少及び他区の実施状況等を踏まえ、現状の規模で実施する。
特殊寝台貸与自己負担軽減事業	06-03-22	1,172	497	継続	継続	時限事業であるため、現状の規模で実施する。
高齢者マッサージ事業（在宅介護者マッサージ事業）	06-03-23	2,042	1,392	継続	継続	現状の規模で実施する。
支えあい見守りあいネットワーク事業費	06-03-24	118	104	推進	推進	ひとり暮らし高齢者等の把握に努め、事業の実効性を向上させる必要がある。

施策分析シート（平成20年度）

小 計	126,861	148,839
-----	---------	---------

施策分析シート（平成20年度）

No3

施策を構成する事務事業の優先度						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		18年度	19年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
敬老週間事業	06-03-25	16,902	17,949	継続	継続	高齢者人口の増加に伴い規模は増加するが、当面は現行のまま実施する。
高齢者総合相談窓口	06-03-26	1,107	1,084	推進	推進	高齢者等が抱える様々な相談に適宜対応するため、高齢者に関する総合的な相談窓口を設置する。
養護老人ホーム措置	06-03-27	165,474	174,104	継続	継続	法定措置事務であり、現状の規模で実施する。
特別養護老人ホーム（措置分）	06-03-28	104	2,671	継続	継続	法定措置事務であり、現状の規模で実施する。
介護サービス事業（措置分）	06-03-29	834	759	継続	継続	高齢者を保護するための緊急措置として、現状の規模で実施する。
高齢者生活管理指導事業	06-03-30	726	701	継続	継続	やむを得ない措置として、現状の規模で実施する。
緊急事務管理事業	06-03-31	-	2,480	-	推進	高齢化の進行に伴い、公共による支援が必要な高齢者は今後も増加することが見込まれることから、引き続き事業の充実を図る。
高齢者虐待対策事業	06-03-32	4,559	5,671	推進	重点的に推進	高齢者の虐待を防止するためには、個々の事例研究を進め、早期発見及び相談・支援にさらに努める必要がある。
成年後見事業	06-03-33	308	230	推進	推進	社会福祉協議会との協議をすすめ、法人後見も活用しながら、円滑かつ迅速な制度運営を図る。
特養ホーム入所希望者実態調査	06-03-34	45	45	継続	継続	特養待機者の増加が見込まれる中、公正かつ客観的な入所基準を確立するために、実態調査を継続する。
訪問指導事業	06-03-35	15,196	17,175	推進	推進	・通所型介護予防事業への参加が困難な特定高齢者への個別対応は重要である。 ・療養環境の整備と介護力の育成を図る。
小 計		205,255	222,869			
合 計		332,116	371,708			